

もあり、保健所に一年ばかり居りました。当時、まだ猛威を振るっていた狂犬病の撲滅のための野犬【図3】捕獲の付添は性に合わず、その後、実験動物の会社で3ヶ月、最後の手段として昭和27年、自転車と鞆と小さな診療所で現在の病院の場所の向かい側で開業。家の前は道路とは云えない雑木林に繋がる通り抜けのできない小径でした。謄写版で刷ったビラを貼って戻ってきたら、第一号の患者の方が見えて居て感動したと聞いています。数年経ったある日、受け取った郵便物に「北多摩郡 木村家畜醫院」とだけ書いてあって有名になったのかと驚いたものの、只、同業者が少なく迷子にならなかつただけであったことを後に回想しています。

（挿画を描いた）叔父の影響で幼い頃から画家になりたいと想っていた私ですが、いつの間にか（文章を書いた）父と同じ学校で学び同じ職業に就いています。先日、研究会で母校に行った時に、外套を着た父が当時カメラを向けられていた辺りから、本館の写真を撮ってみました。【図4】どの樹がどの木なのだろう？父の後方に70数年前に在った2本の木は、今も尚、未だに「その刻」の領域に止まっているようにも見えます。生命の刻の永續性を垣間見ることができて感慨無量。「その刻」迄に過ぎ去った日々は想い出（記憶）として、「その刻」以降に訪れた「その刻」には未来であったものも夢や憧れの内に「その刻」の領域に包含されていて、父は自分の写真を撮られた「その刻」も、分かれたることも刻まれることなく、2本の木のように現在を観ていたのかもしれない。

【図1】



▶小冊子の表紙
ペット（犬・猫・小鳥）
を飼う方に

【図2】



▶海軍時代の外套を着用
した父（日獣中庭）
昭和23年12月撮影

【図3】



▶真性狂犬病犬
（豊島園裏にて捕獲）
昭和24年6月撮影

【図4】



▲現在の日獣 中庭から本館を望む

令和2年1月撮影



ながた内科クリニック

院長 永田 宏

TEL 0411-3690707

くすりを 正しく使うために

私たちは、病気やケガをしたときに、くすりの助けを借りて健康を取り戻します。
Q & A方式で、くすりに対する理解を深め、正しい使い方を知しましょう。

Q 現在使われているくすりの基礎は、
いつごろ築かれたのでしょうか。

A

近代のくす
りの多く

は、20世紀

前半に基礎が築かれま

した。天然素材（植物・

動物・鉱物など）に含

まれる有効成分を抽出

し、化学的に変化を加

えたり、同じ成分を化

学合成することによっ

て、つくられています。

【解説】医学の父とさ
れる古代ギリシャのヒ

ポクラテスは、ヤナギ
の皮や枝から鎮痛薬を
つくったと伝えられて
います。

やがて19世紀になる

と、その効用に注目し

たある学者が、カワヤ

ナギの葉や小枝を化学

的に分析した結果、サ

リチル酸が得られまし

た。サリチル酸こそ、

鎮痛・解熱作用の有効

成分だったのです。

サリチル酸は、のち
にリウマチの治療にも

盛んに利用されました

が、同時に胃腸障害な

どの強い副作用が現れ

ました。そこでサリチ

ル酸の副作用を抑える

研究がおこなわれ、そ

の結果、化学的に変化

を加えて化学合成され

たくすり、鎮痛薬と

してよく知られるアセ

チルサリチル酸（アス

ピリン）です。

近代のくすりの開発

には、このように副作

用を減らし、効果を高

めていくような化学的

な研究が寄与してお

り、くすりの開発は近

代化学の発展に大きな

貢献を果たしてきたと

いえます。

同様の化学的な手法

により咳や下痢を止め

るコデイン（原料植物

Ⅱ ケシ）、痛風の発作

やベーチェット病の治

療薬コルヒチン（原

料植物Ⅱ イヌサフラ

ン)、瞳孔を広げたり、胃がいれんを抑えるアトロピン(原料植物ハシリドコロ)、強心薬のプルブレア配糖体(原料植物ジギタリス)、抗アレルギー作用を持ち、咳を鎮めるトラニラスト(原料植物ニナンテン)など、数多くのくすりが植物からつくられました。19世紀末から20世紀初頭には、ヨーロッパでパスツールやコッホらによる細菌学が勃興しました。パスツールはワクチンによる予防接種の方法を開発し、狂犬病ワクチンなどを発明しました。

展に大きく貢献しました。国内では、1873年(明治6年)に、政府の援助を得て、日本最初の製薬会社「大日本製薬会社」が設立されました。また大阪でも、薬種卸仲買商の仲間によつて1888年(明治21年)に「大阪薬品試験会社」が設立、さらに道修町の有力な薬種問屋が中心となつて1897年(明治30年)には「大阪製薬株式会社」が設立されました。当初は輸入薬が中心で、国産のくすりは事業としてはあまり奮いませんでした。しかし、1914年(大正3年)に起こった第一次世界大戦により、海

外からのくすりの輸入が困難となつて外国のくすりの価格が高騰したため、くすりの国産化の必要性が高まり、モルヒネ、アスピリン、サリチル酸などの重要なくすりの研究と製造が本格的に開始されたのです。

日本の製薬産業は、その後も紆余曲折を経ながら著しい発展を遂げ、くすりの開発の基盤となる化学研究の分野において、日本は先進国である欧米のレベルに急速に追いついていきました。



くすりののはじまりは、古代ギリシャのヒポクラテスがヤナギの皮や枝から鎮痛薬をつくったことでした

Q 副作用は、なぜ起こるのですか。

A

副作用の原因には、くすりの成分の影響や患者さんの体質との相性、くすりの使い方の間違いなど、いろいろあります。くすりを使った後、いつもと違う症状が起きた時は、すぐに医師や薬剤師に相談しましょう。

【解説】かぜ薬をのんだ後で、体調は良くなったものの、とても眠くなる場合があります。

抗ヒスタミン薬には、鼻水やくしゃみを抑える「主作用」のほかに、眠くなるという「副作用」が出ることがあるからです。

このように、くすりの本来の目的である有益な作用を「主作用」、期待しなかった作用を「副作用」といい、すべてのくすりは、その両方の作用を併せもっています。

副作用には、さまざまな原因があります。

副作用の症状にも、眠気、のどの渇き、発疹、かゆみ、胃痛、吐気、めまい、けいれん、

下痢など、さまざまなものがあります。

眠気などの軽い症状の場合には、仮眠をとる、車の運転はしないといった自分なりの方法で対処することができます。

ただし症状によっては、同じくすりをのみ続けると危険な場合もあります。また病気によつては、治療を優先するため、医師が様子をみながらくすりを使用することもあります。

こうした場合には、自己判断でくすりをやめると、病気が治りにくくなってしまうこともあります。

いずれの場合も、

くすりを使用した後でいつもと違う症状がみられたら、まず医師や薬剤師に相談してください。

また、ほとんどの製薬企業には、くすりに関する相談窓口が設置されていますので、わからないことがあればたずねてみてください。



眠くなる副作用があるくすりをのんだら、運転は控えましょう

健康情報誌「こまど」より

足立別院のごあんない

全景



合祀所



ご本尊



案内図



多摩犬猫靈園

足立別院

東京都足立区加平1-14-3 〒121-0055

TEL.03-3628-7676

FAX.03-3628-7679

- 北綾瀬より徒歩4分 ●首都高速加平インターより2分
●環七道沿い ●東武バス「加平橋」停留所より徒歩3分



修正会

元旦 午前零時より

はけば散り
払えばまたも
塵積る
庭の落ち葉も
人の心も
このチリ、アクタを
洗い落として
新しい年を
迎えようとする
行事です。

●本山：東京都府中市浅間町2-15-1 〒183-0001
TEL.042-365-7676 FAX.042-336-3888
URL <https://www.jikeiin.jp>

●足立別院：東京都足立区加平1-14-3 〒121-0055
TEL.03-3628-7676 FAX.03-3628-7679

編集後記

健康チェックコーナーでは「くすり」を取りあげていたできました。

くすりは正しく使いましょう。

「修正会」は元旦午前零時より

毎年厳修（自由参加）

心の埃りを払って

新年を迎えましょう。

年末筆御自愛專一

祈念申上候

令和二年弥生

合掌

慈 恵 春季号 No. 70

令和二年三月二日 発行

発行者 永 田 恵 堂

編集者 長 岡 天 佑

発行所 一八三〇〇〇一

府中市浅間町二十五
一 宗教法人慈恵院 編集部

〇四二一三六五七六七六

印刷所 山一印刷 有限会社

府中市浅間町三十四一九

〇四二一三六一五二二二